

パブリックコメント意見対応一覧(3月20日現在)

No.	P	意見内容	意見に対する対応
1	全体	細部にわたってよくまとめていると思われるが、この考え方を一般市民に理解してもらうためには工夫が必要ではないか。簡単でわかりやすい解説資料の作成が必要ではないか。	本計画作成後、概要版を作成し、配布を行う予定。
2	P6 (1) 環境保全の範囲	<p>環境保全の範囲の中の(分野)に「環境学習」を入れ。主要施策として下記を入れてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習の推進と事業者支援 ・市民・事業者との協働による取り組みの推進 ・環境分野における男女共同参画の推進 ・学・社・民の融合による教育の推進 <p>理由 この項目は「環境施策の体系」的な意味合いがあり必要。総合計画の中に「市民と地域が学び高めあう、安心協働都市」とあり、これを反映したものとする。 また、第4節の「計画の目指すもの」につながる。</p>	<p>「環境学習」は、本計画においては環境保全の範囲ではなく、環境を守るための土台として位置付けていることから、本項目にはなじまないため、原案のとおりとする。 また、施策についても原案のとおりとする。</p> <p>なお、男女共同参画については、No.3に記載のとおり</p>
3	P10 施策の大綱	<p>施策「環境教育と協働の推進」の「施策の展開」の「市民との協働」に「男女共同参画の推進・子どもを安心して産み育てられるまち」を入れてほしい。</p> <p>理由 「ずっと安心して暮らせるまち」の条件として、環境教育とともに生活者の視点からの男女共同参画教育が必要</p>	<p>4ページ「2 計画の基本的視点」, 「(2) 超高齢社会、人口減少社会などへの対応や、地域経済への貢献」内</p> <p>「施策の推進にあたっては、<u>超高齢社会や人口減少社会への対応、男女共同参画社会の推進</u>といった社会的課題を見据え、・・・」に修正</p>

No.	P	意見内容	意見に対する対応
4	P28 ②田園資源の有効活用	<p>田園資源の有効活用に関連して、「地元産農産物への理解促進」を加え、パートナーとして市民を追加する必要があるのではないか。</p>	<p>28ページ内「（１）田園環境の保全・持続可能な利用」，「②田園資源の有効活用」内</p> <p>「<u>●地元農産物・地元産材を広くPRするなど，地産地消を推進します。</u>」を追加し，協働のパートナーに市民を追加。</p> <p>51ページ「第3部 環境配慮指針」，「（１）本市の持つ田園環境に関心を持ち，保全活動などへ積極的に参加します。」内</p> <p>「<u>地元産の農産物を積極的に購入し，地産地消を心がけます。</u>」を追加</p>
5	P45 (2) 事業者	<p>8年後のまちの姿の実現に向けた事業者の取組み</p> <p>➤「化学物質対策の推進」として「環境中への化学物質の排出の抑制」を入れる。</p> <p>理由 化学物質には、環境中に排出され、人の健康や生態系に有害な影響を及ぼすものがある。環境リスクの低減のためにも必要。</p>	<p>提案内容は、59ページ「第3部 環境配慮指針 第2節 事業者における環境配慮 5 快適な生活環境の創造（１）環境関連法令を遵守し環境保全対策を徹底します」の中で「有害化学物質の排出削減及び抑制のため自主管理を徹底する」と記載しているため、原案のとおりとする。</p>

No.	P	意見内容	意見に対する対応
6	P46 (1) 環境負荷の抑制	<p>➤市の施策展開 「環境リスクの低減」として、「化学物質の排出量・取扱量などの把握と公表」を入れてほしい。</p> <p>理由 化学物質に対する不安の解消のために、化学物質の管理の徹底と情報の提供を事業者に促す。</p>	<p>46ページ「(1) 環境負荷の抑制」, 「⑤有害化学物質による環境汚染の防止」内</p> <p>「●PRTR法に基づき事業所から排出・移動される化学物質の種類と量を把握し公表します。」に修正</p>